

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 岐阜経済大学

(2) 大学名

岐阜経済大学

(3) 大学の位置

〒503-8550

岐阜県大垣市北方町5丁目50番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ツチヤ タカシ) 土屋 嶠 (平成17年3月)	該当なし	
学長	(タニエ ユキオ) 谷江 幸雄 (平成21年12月)	該当なし	
学部長	(キムラ タカユキ) 木村 隆之 (平成19年12月)	(タカハシ ツトム) 高橋 勉 (平成23年12月)	任期満了に伴う変更 平成23年12月1日(24)
学科長等	該当なし	該当なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 公共政策学科 学士(社会学)	4年	40人	年次 - 人	160人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	0.77倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	0.77		-		-							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 31	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次	/		/		/		[-] -	[-] -	
計	[-] 31	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	31 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	- 人	0 人	平成25年度	人	人		#VALUE! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	- 人	0 人	平成26年度	人	人		#VALUE! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	31 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<経済学部 公共政策学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基礎 教育 科目	基礎 科目	基礎演習	1通	4			0	1	2			入学者数に合わせて教員を変更 (24) 担当 梅木真寿郎(講師)
		情報リテラシーA	1前	2			2	3	4			
		情報リテラシーB	1後		2							
		文章表現法	1前・後		2							
		統計調査論	1前		2							
		ビジネスプレゼンテーション	2後		2							
		データベース	2前・後		2							
	まち づくり と フ ィ ー ル ド ワ ー ク	岐阜地域研究	1後		2		1					
		地域フィールドワーク	1前・後		2			1				
		海外フィールドワーク	1前・後		2							
		ボランティアA	1通		2			1				
		ボランティアB ニティ論	1通 1後		2 2			1 1				
	教 養 科 目	歴史学A	1前・後		2							
		歴史学B	1前・後		2							
		政治学	1後		2							
		経済学	1前・後		2		1					
		社会学	1後		2							
		地理学A	1前		2							
		地理学B	1後		2							
		生物学	1前		2		1					
		数学I	1前		2							
		数学II	1後		2							
		統計学	1後		2							
		哲学	1前		2							
		倫理学	1前・後		2							
		宗教学	1前		2							
		心理学	1前・後		2							
		教育学	1前		2							
		文化人類学	1前・後		2							
		文学	1後		2							
	ジェンダー論	1前・後		2								
	健康とスポーツ	1前・後		2								
	環境論	1前		2		1						
医学一般	1前・後		2			1						
法 科 目	法学	1前・後		2								
	日本国憲法	1前・後		2								
	行政法I	2前		2				1				
	行政法II	2後		2				1				
	民法I	1前		2								
	民法II	1後		2								
	商法	2前・後		2								
	労働法	2後		2								
	経済法	2前		2								
こ と ば と 文 化	語 学	英語I	1前・後	2			1	4			教員の昇格による変更(24)	
		ドイツ語I	1前		2							
	フランス語I	1前		2								
	中国語I	1前		2								
	語 学	英語II	1前・後		2			1	4			教員の昇格による変更(24)
		ドイツ語II	1後		2							
		フランス語II	1後		2							
中国語II		1後		2								

ことばと文化	異文化	オーラル ニケーション	2前・後	2		1	+				教員の昇格による変更(24)	
		メディア ニケーション	2前	2								
		アメリカのことばと文化	2前	2								
		イリスのことばと文化	2前	2								
		ヨーロッパのことばと文化	2前・後	2								
		中国のことばと文化	2前・後	2								
	日本のことばと文化	2前・後	2									
	留学生	英語会 I	1後	4		1	+				教員の昇格による変更(24) 教員の昇格による変更(24)	
		英語会 II	1後	4		1	+					
		中国語会 I	1前	2								
中国語会 II		1後	2									
英語検定		1後	4									
時事英語		1後	2									
ビジネス英語		1前	2									
外書講 A		3前	2		1							
外書講 B	3前	2										
海外語学研修	1通	4		1	+				教員の昇格による変更(24)			
留学生	日本語 I	1前	2							教員の昇格による変更(24)		
	日本語 II	1後	2									
	基礎英語 I	1前	2		1	+						
	日本語 ニケーションA	1前	2									
	日本語 ニケーションB	1後	2									
体育	体育実 A	1前	1									
	体育実 B	1後	1									
専門教育科目	公共政策	公共政策入門	2前	2		1						
		公共倫理と市民社会	2前	2				1				
		公共政策論 I	2後	2		1						
		公共政策論 II	2後	2		1						
		社会福祉 論 I	2前	2					1			
		社会福祉 論 II	2後	2					1			
		社会保障論	2通	4		1						
		労働経済論	2前・後	2		1						
		地域経済論	3前・後	2				1				
		現代 論	3前	2								
		営 事業論	2前	2				1				
		環境論	3前	2								
		社会地理学	2後	2								
		地域福祉論	2前	2				1				
		高齢者福祉論	2前	2		1						
	障 者福祉論	2後	2				1					
	社会調査	3後	2									
	公的 助論	2後	2					1				
	福祉論	2前	2									
	ニティ ービスラーニング	2通	2				1					
	公共 ネジメント	現代公務員論	2前	2					1			
		公共政策特論	2後	2		1						
		行政学	2前	2		1						
		地方自治論	3前	2					1			
		市計画論	3後	2								
		文化政策	3後	2								
		環境政策	3前	2		1						
		教育政策	3後	2		1						
		経済 論	2前・後	4								
		ク口経済学	2前・後	4								
ク口経済学		2前・後	4									
経済統計学		2前	4									
金 論		2前	4									
財政学		2後	4				1					
経済政策		2前	4		1							
日本経済論	2前・後	2										
国際経済論	2前・後	2										
国際政治論	3前	2										
地方財政論	3前・後	2				1						
公務員研究特論 I	3前・後	2						1				
公務員研究特論 II	3前・後	2										

専門教育科目	ソーシャルワーク	福祉行財政と福祉計画	3後	2									
		福祉住環境論	1前	2									
		福祉学	2前	2		1							
		福祉情報ネットワーク論	3後	2		1							
		福祉サービスの組織と経営	3前	2									
		障の理解	2前	2				1					
		保健医療サービスの	2前	2									
		と成年後見	3後	2									
		就労と更生保	3前	2					1				
		概論	2前	2		1							
		保育実践論	3後	2									
		生スポーツ論	1後	2									
		レクリエーション活動助法	3前	2									
		ニティワーク	2後	2				1					
		相助の基と専門職	1後	2				1					
		相助の理論と方法Ⅰ	2前	2				1					
		相助の理論と方法Ⅱ	2後	2				1					
		ーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2				1					
		ーシャルワーク演習Ⅱ	2前	2					1				
		ーシャルワーク演習	2後	2				1					
ーシャルワーク演習	3前	2				1							
ーシャルワーク演習	3後	2						1					
ーシャルワーク実習指Ⅰ	2後	2							1				
ーシャルワーク実習指Ⅱ	3前	2							1				
ーシャルワーク実習指	3後	2							1	1			
ーシャルワーク実習	3通	4				1			1				
記会計	記Ⅰ	1前・後	4										
	記Ⅱ	1後	4										
	価計算	1後	4										
	企業会計	2通	4										
演習	演習Ⅰ	2通	4				2		1				
	演習Ⅱ	3通	4				2						
	演習	4通	4			2			1				
就職・資格取 科目	検定科目	1前・後	2										
	キャリア成Ⅰ	1前	2										
	キャリア成Ⅱ	2前	2										
	キャリア成	3前	2										
	キャリア成	3後	2										
	キャリア成	2後	2										
	インターンシプA	2前・後	2										
	インターンシプB	2後	2										
	教職課程科目	1通	別 1			1							
	社会福祉士課程科目	1通	別 1						1				
資格自己研修	1通												
公務員基礎講座	3前・後	別 1											
自由科目	特殊講義A	1前	2										
	特殊講義B	1後	2										
	公務員・教養講座	未開講											
	自由研究	2前・後	別 1										
	ンシウム特殊講義A	1前・後	2										
	ンシウム特殊講義B	1前・後	2										
	他学部・他学科科目	1前・後	1										
他大学科目	1												

学上「キャリア成」は3年次後期に配置しているが、届出書の様式第2号（その2の1）のあったため正した（24）

「特殊講義A」と「特殊講義B」は隔年開講としているためH24年度は「特殊講義B」を休講とした（24）

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
社会福祉士課程科目	社会福祉論Ⅰ	2前		2					1				
	社会福祉論Ⅱ	2後		2					1				
	地域福祉論	2前		2				1					
	高齢者福祉論	2前		2			1						
	障害者福祉論	2後		2					1				
	福祉論	2前		2									
	社会保障論	2通		4			1						
	公的助論	2後		2						1			
	社会調査	3後		2									
	ネットワーク	2後		2					1				
	相助の基と専門職	1後		2					1				
	相助の理論と方法Ⅰ	2前		2					1				
	相助の理論と方法Ⅱ	2後		2					1				
	ーシャルワーク演習Ⅰ	2前		2					1				
	ーシャルワーク演習Ⅱ	2前		2						1			
	ーシャルワーク演習	2後		2					1				
	ーシャルワーク演習	3前		2					1				
	ーシャルワーク演習	3後		2						1			
	ーシャルワーク実習指Ⅰ	2後		2									
	ーシャルワーク実習指Ⅱ	3前		2						1			
	ーシャルワーク実習指	3後		2						1			
	ーシャルワーク実習	3通		4					1	1			
	心理学	1前・後		2									
	社会学	1後		2									
	医学一般	1前・後		2					1				
	福祉行政と福祉計画	3後		2									
	保健医療サービス	2前		2									
	福祉サービスの組織と経営	3前		2									
	就労と更生保	3前		2					1				
	と成年後見	3後		2									
社会福祉特別講座A	3後		2										
社会福祉特別講座B	4前		2										
社会福祉特別講座C	4前		2						1				
社会福祉特別講座	4後		2						1				

※印の授業科目は経済学部公共政策学科で開講

別 1 (つづき)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
公務員講座・教養	教養講座論文・専門記述	3後		2								
	教養講座数学	2前		2								
	教養講座社会科学Ⅰ	2前		2								
	教養講座社会科学Ⅱ	2後		2								
	教養講座自然科学	2後		2		1						
公務員基礎講座	公務員基礎講座Ⅰ	3前・後		2								
	公務員基礎講座Ⅱ	3前・後		2								
	公務員基礎講座	3前・後		2								
教育職員 状取のための授業科目	日本史A	2前		2								
	日本史B	2後		2								
	外国史A	2前		2								
	外国史B	2後		2								
	自然地理学	2		2								
	地誌A	2前		2								
	地誌B	2後		2								
	職業指 生学・公 生学	2後		4								
	2後		2									
	学校保健(処置含む)	2前・後		2								
	教職総論	1後		2		1						
	教育理	1後		2								
	教育制度論	2前		2		1						
	学習・発達論	2後		2								
	教育課程論	2前		2								
地理歴史科教育法Ⅰ	2前		2									
地理歴史科教育法Ⅱ	2後		2									
公民科教育法Ⅰ	2前		2									
公民科教育法Ⅱ	2後		2									
福祉科教育法Ⅰ	2前		2									
福祉科教育法Ⅱ	2後		2									
教育論	2後		2		1							
特別活動論	2後		2									
教育方法論	2前		2									
生指論	2前		2									
教育相	2休		2									
教職総合演習	3通		2		1							
教育実習・教育実習指Ⅰ	4通		3		1							
教育実習・教育実習指Ⅱ	4通		2									
教職実践演習(中・高)	4後		2									
教職特別講座A	3後		2									
教職特別講座B	3前		2		1							
教職特別講座C	3休		2									
教職特別講座	3後		2									

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成1年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
8科目	163科目	0科目	171科目	8科目	163科目	0科目	171科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	特殊講義B	2	1	一般	選択	「特殊講義A」と「特殊講義B」は隔年開講の科目として位置づけており、今年度は「特殊講義A」を開講し、「特殊講義B」を休講とした。来年度は「特殊講義B」を開講する。

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の「特殊講義B」は1年次開講の選択科目としている。受講の機会を次年度（2年次）以降保障すれば、対応に不足はないと思われる。学生には所属の「基礎演習」で周知する予定である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	駐車場の借地 ①2,845.00㎡ ②3,170.00㎡ 平成21年1月1日～ 平成25年12月31日 ③1,246.00㎡ 平成18年12月1日～ 平成23年11月30日 上記いずれも借用期間 終了後、契約を継続す る。		
	校舎敷地	45,100 ㎡	0㎡	0㎡	45,100 ㎡			
	運動場用地	47,170 ㎡	0㎡	0㎡	47,170 ㎡			
	小 計	92,270 ㎡	0㎡	0㎡	92,270 ㎡			
	そ の 他	16,259 ㎡	0㎡	0㎡	16,259 ㎡			
	合 計	108,529 ㎡	0㎡	0㎡	108,529 ㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		27,638.57 ㎡ (27,638.57 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	27,638.57 ㎡ (27,638.57 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		30 室	21 室	2 室	8 室 (補助職員 2 人)	1 室 (補助職員 1 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		経済学部 公共政策学科			14 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	経済学部 公共政策学科	1,600 [0] (193 [0])	820 [330] (0 [0])	- [-] (- [-])	- (-)	- (-)	- (-)	
	計	1,600 [0] (193 [0])	820 [330] (0 [0])	- [-] (- [-])	- (-)	- (-)	- (-)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		3,599.64 ㎡		375	470,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,546.90㎡		総合グラウンド, 体育センター, 更衣室				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	370千円	370千円	図書購入費	1,200千円	2,800千円	2,640千円
		共同研究費等	300千円	300千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,170千円	970千円	970千円	970千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、資産運用収入、手数料収入をもって充当する。						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岐阜経済大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
経済学部	年	人	年次	人		倍			
経済学科	4	90 (100)	-人	360 (400)	学士 (経済学)	0.90	昭和42年		平成24年度より定員変更
臨床福祉コミュニティ学科	4	-	-	-	学士 (社会学)	-	平成12年		平成24年度より学生募集停止
経営学部								岐阜県大垣市	
情報メディア学科	4	70 (60)	-	280 (240)	学士 (経営学)	1.13	平成6年	北方町5丁目50	平成24年度より定員変更
スポーツ経営学科	4	150	-	600	学士 (スポーツ経営学)	1.11	平成18年	番地	
経営学研究科	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.70	平成13年		
経営学専攻									
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(A C対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 公共政策学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	小倉幸雄 (55)	平成24年4月	海外フィールドワーク 検定科目 資格自己研修 自由研究 コンソシアム特殊講義A コンソシアム特殊講義B 特殊講義A 特殊講義B 公務員・教養講座 (教養講座論文・専門記述) (教養講座数学) (教養講座社会科学Ⅰ) (教養講座社会科学Ⅱ) (教養講座自然科学) 他学部・他学科科目 他大学科目	兼任	教授	古口博之 (56)	平成24年4月	海外フィールドワーク 検定科目 資格自己研修 自由研究 コンソシアム特殊講義A コンソシアム特殊講義B 特殊講義A 特殊講義B 公務員・教養講座 (教養講座論文・専門記述) (教養講座数学) (教養講座社会科学Ⅰ) (教養講座社会科学Ⅱ) (教養講座自然科学) 他学部・他学科科目 他大学科目	学内役職交代(教務部長)のため、平成23年12月より担当者の変更(24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
(7)	(5)	(2)	(0)	(14)	(0)	(7)	(5)	(2)	(0)	(14)	(0)	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<経済学部 公共政策学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 2012年4月25日開催(委員長及び4名の委員教員が全員出席)2011年度は5回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業アンケート・教育自己評価・FD研修会・授業公開について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 授業アンケート FD研修会</p> <p>b 実施方法 授業アンケートについて、全科目を対象に行なった。 FD研修会2回のうち1回は外部講師を招き研修会を行い、もう1回は他大学の「地域実践教育」の先進事例を学内で研究し実施した。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 6/3 第1回「大学生基礎力調査から見える新入生の実態」について開催し60名が参加した。 2/15 第2回「地域実践教育における現状と課題」について開催し30名が参加した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 教育方法に関する全学的な問題を考え、教育力向上に取り組んだ。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期は6/22～7/13に実施した。後期は12/12～1/13に実施した。</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等 アンケート結果・分析・教育自己評価をHPで公開している。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、協働と共生の地域づくりを担う人材の育成を教育目標としている。地域社会は、グローバル化、日本経済の停滞、少子高齢化のもとで大きな変化にさらされており、地域で生活する住民、行政、企業など、様々な立場から互いに協力し、新たな地域社会の創造に取り組むことが求められている。「協働と共生の地域づくりを担う人材」とは、このような基本的な考え方のもとで、地域社会の課題を発見し、解決策を提案し、その実行において中心的な役割を果たすことのできる能力を身につけた人材のことである。このような人材の育成は、まさに、「地域に有為な人材を輩出する」という本学の社会的使命・教育目的を体現するものと言える。

2012年度は本学科開設1年目であり、当初の計画に従い、本学科の設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組みを開始したところである。今後も、当初の計画を着実に実施していきたいと考えている。なお、新たな取り組みとしては、連携協定を結ぶ自治体での体験学習プログラム等、設置の趣旨・目的を達成するための一層の充実策についても検討した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成23年度は、平成22年度に続き、自己評価運営委員会が個別自己評価委員会の報告書を1冊にまとめ、学長に報告した。

平成24年度は、今回設置の公共政策学科も自己点検・評価活動の対象として、自己点検・評価活動を行い学長に報告するが、大学ホームページでの公表は予定していない。

平成25年度に、公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審するので、その報告書を大学ホームページに公表予定である。

b 公表方法

平成24年度は、個別自己点検・評価報告書を12月末に刊行し、その後、自己評価運営委員会が、個別の報告書を1冊にまとめ、学長に報告することになっている。平成25年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審するので、その報告書の刊行にかえる予定である。

大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成25年度に公益財団法人日本高等教育評価機関（大学機関別認証評価）の認証評価を受審する。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2012 年 6 月 1 日)